

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	アイ・ビービューティカレッジ
設置者名	学校法人佐賀理容美容専門学校

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
衛生専門課程	理容科	夜・通信	1,980 時間	160 時間	
	美容科	夜・通信	1,980 時間	160 時間	
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

理容科	<a href="https://ib-beauty.jp/disclose/barber.pdf">https://ib-beauty.jp/disclose/barber.pdf</a>
美容科	<a href="https://ib-beauty.jp/disclose/beauty.pdf">https://ib-beauty.jp/disclose/beauty.pdf</a>

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	アイ・ビービューティカレッジ
設置者名	学校法人佐賀理容美容専門学校

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://ib-beauty.jp/disclose/board.pdf>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	ヘアーサロンやまだ 代表	2018.6.1～ 2020.5.31	カリキュラム助言 監査
非常勤	フルハウスプレミアムヘアー 代表	2018.6.1～ 2020.5.31	カリキュラム助言 監査
非常勤	諸岡理容 代表	2018.6.1～ 2020.5.31	カリキュラム助言 監査
非常勤	ヘアーサロンクロカワ 代表	2018.6.1～ 2020.5.31	カリキュラム助言 監査
非常勤	ヘアーズ・ファン 代表	2018.6.1～ 2020.5.31	カリキュラム助言 監査
非常勤	ビューティ・サロン・シヤンジェ 代表	2018.6.1～ 2020.5.31	カリキュラム助言 監査
非常勤	バロン 美容室 代表	2018.6.1～ 2020.5.31	カリキュラム助言 監査
非常勤	美容室マハウツカイ 代表	2018.6.1～ 2020.5.31	カリキュラム助言 監査
非常勤	高等学校教諭	2018.6.1～ 2020.5.31	適正な学生募集に 対する助言
(備考) 理事定数 14 名 内学外者 9 名			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	アイ・ビービューティカレッジ
設置者名	学校法人佐賀理容美容専門学校

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
シラバスは、理容師・美容師養成施設指定規則（厚生労働省）に則り、教務職員が立案し、校長（養成施設長）の確認を得て実施し、2月末を目処に作成する。	
シラバスは入学時オリエンテーションで配布し、十分な説明を行うとともに、ホームページで公開している。	
衛生専門課程 理容科 <a href="https://ib-beauty.jp/disclose/barber.pdf">https://ib-beauty.jp/disclose/barber.pdf</a>	
衛生専門課程 美容科 <a href="https://ib-beauty.jp/disclose/beauty.pdf">https://ib-beauty.jp/disclose/beauty.pdf</a>	
授業計画書の公表方法	<a href="https://ib-beauty.jp/">https://ib-beauty.jp/</a>
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
<p>&lt;履修認定の方法について&gt;          理容師・美容師養成施設指定基準による規定時間数を受講していることを前提に、年3回(2年間で6回)の試験を実施する。理論科目については筆記試験、実習科目については実技試験を行う。全課程修了時に評点を平均し最終評価を行う。</p> <p>&lt;学修意欲の把握&gt;          学修意欲、及び就業意欲を把握するため、年3回の定期的な面談を行う。その他必要に応じて随時面談を行う。</p>	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)	
<p>&lt;GPAの算定について&gt;          単位制ではないため、課程修了時に履修時間を単位数に変換しGPAを算出する。          具体的には、30時間の履修を1単位とし、試験得点に応じて0~4の5段階のGPで計算し、その合計の平均を算出する。          GPAの算出方法はホームページで公開している。</p> <p>理容科 <a href="https://ib-beauty.jp/disclose/barber.pdf">https://ib-beauty.jp/disclose/barber.pdf</a>          美容科 <a href="https://ib-beauty.jp/disclose/beauty.pdf">https://ib-beauty.jp/disclose/beauty.pdf</a></p>	
客観的な指標の 算出方法の公表方法	<a href="https://ib-beauty.jp/">https://ib-beauty.jp/</a>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

<デュプロマポリシー>

理容師及び美容師国家資格の取得が目標であるため、養成施設の指定基準に則り、国家試験の受験資格を有することを卒業認定の基準とし、卒業判定会議で決定する。

具体的には2年間で規定課目2,010時間を履修しD評価課目がないこと。  
なお、進級にあたっては、進級判定会議を行い、卒業基準を満たす可能性がない場合は進級を認めない。

進級及び卒業判定については、入学時と進級時のオリエンテーションで詳細を説明する。

デュプロマポリシーはホームページで公開している。

理容科 <https://ib-beauty.jp/disclose/barber.pdf>

美容科 <https://ib-beauty.jp/disclose/beauty.pdf>

卒業の認定に関する  
方針の公表方法

<https://ib-beauty.jp/>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	アイ・ビービューティカレッジ
設置者名	学校法人佐賀理容美容専門学校

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	<a href="https://ib-beauty.jp/disclose/disclosure.pdf">https://ib-beauty.jp/disclose/disclosure.pdf</a>
収支計算書又は損益計算書	<a href="https://ib-beauty.jp/disclose/disclosure.pdf">https://ib-beauty.jp/disclose/disclosure.pdf</a>
財産目録	<a href="https://ib-beauty.jp/disclose/disclosure.pdf">https://ib-beauty.jp/disclose/disclosure.pdf</a>
事業報告書	<a href="https://ib-beauty.jp/disclose/disclosure.pdf">https://ib-beauty.jp/disclose/disclosure.pdf</a>
監事による監査報告（書）	<a href="https://ib-beauty.jp/disclose/disclosure.pdf">https://ib-beauty.jp/disclose/disclosure.pdf</a>

2. 教育活動に係る情報

①-1 学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		衛生専門課程	理容科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2010 単位時間/単位	630 単位時間 /単位	300 単位時間 /単位	1080 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			2010単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		22人	0人	3人	14人	17人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） シラバスは、理容師・美容師養成施設指定規則（厚生労働省）に則り、教務職員が立案し、校長（養成施設長）の確認を得て実施する。
成績評価の基準・方法
（概要） 理容師・美容師養成施設指定基準による規定時間数を受講していることを前提に、年3回（2年間で6回）の試験を実施する。理論科目については筆記試験、実習科目については実技試験を行う。全課程修了時に評点を平均し最終評価を行う。
卒業・進級の認定基準
（概要） 理容師及び美容師国家資格の取得が目標であるため、養成施設の指定基準に則り、国家試験の受験資格を有することを卒業認定の基準とし、卒業判定会議で決定する。具体的には2年間で規定科目2,010時間を履修しD評価科目がないこと。なお、進級にあたっては、進級判定会議を行い、卒業基準を満たす可能性がない場合は進級を認めない。
学修支援等

<p>(概要)</p> <p>○学生生活支援 担任および副担任を置き、相談や指導をいつでも行える環境を整えている。必要であれば保護者とも密に連絡を取り、国家資格の取得および希望するサロンへの就職など学生の目的達成をサポートしている。</p> <p>○モチベーションの向上 ・組合が主催する競技大会、全国理容美容学生技術大会など様々な競技会に1年次から参加しモチベーションの向上に努めている。 ・ショー形式で業界人・保護者へ学んだ技術を発表する「アイビーヘアフェスタ」を年に1回実施している。</p> <p>○業界就職の支援 理容室・美容室と提携しており、年60時間の実務実習(インターン)や特別講座などで現役実務者と接する時間を増やしている。</p>
---

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
10人 (100%)	人 ( %)	3人 ( 30%)	7人 ( 70%)
(主な就職、業界等) 理容業・美容業、エステ、ネイル等			
(就職指導内容) 個人面談、模擬面接、履歴書、就職ガイダンス			
(主な学修成果(資格・検定等)) 理容師・美容師 免許、ネイル検定、カラー検定			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
18人	1人	5.6%
(中途退学の主な理由) 自己都合(結婚)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個人面談、担任・副担任制 通信課程への編入		

①-2 学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		衛生専門課程	美容科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2010 単位時間/単位	630 単位時間 /単位	300 単位時間 /単位	1080 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			2010 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		26人	0人	3人	14人	17人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） シラバスは、理容師・美容師養成施設指定規則（厚生労働省）に則り、教務職員が立案し、校長（養成施設長）の確認を得て実施する。
成績評価の基準・方法
（概要） 理容師・美容師養成施設指定基準による規定時間数を受講していることを前提に、年3回（2年間で6回）の試験を実施する。理論科目については筆記試験、実習科目については実技試験を行う。全課程修了時に評点を平均し最終評価を行う。
卒業・進級の認定基準
（概要） 理容師及び美容師国家資格の取得が目標であるため、養成施設の指定基準に則り、国家試験の受験資格を有することを卒業認定の基準とし、卒業判定会議で決定する。具体的には2年間で規定科目 2,010 時間を履修し D 評価科目がないこと。なお、進級にあたっては、進級判定会議を行い、卒業基準を満たす可能性がない場合は進級を認めない。
学修支援等
（概要） ○学生生活支援 担任および副担任を置き、相談や指導をいつでも行える環境を整えている。必要であれば保護者とも密に連絡を取り、国家資格の取得および希望するサロンへの就職など学生の目的達成をサポートしている。 ○モチベーションの向上 ・組合が主催する競技大会、全国理容美容学生技術大会など様々な競技会に1年次から参加しモチベーションの向上に努めている。 ・ショー形式で業界人・保護者へ学んだ技術を発表する「アイビーヘアフェスタ」を年に1回実施している。 ○業界就職の支援 理容室・美容室と提携しており、年60時間の実務実習（インターン）や特別講座などで現役実務者と接する時間を増やしている。



卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
12人 (100%)	0人 (%)	10人 (83.3%)	2人 (16.7%)
(主な就職、業界等) 理容業・美容業、エステ、ネイル等			
(就職指導内容) 個人面談、模擬面接、履歴書、就職ガイダンス			
(主な学修成果（資格・検定等）) 理容師・美容師 免許、ネイル検定、カラー検定			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
26人	3人	11.5%
(中途退学の主な理由) 自己都合（結婚1）、自己都合（進路変更2）		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個人面談、担任・副担任制、通信課程への編入		

## ②学校単位の情報

### a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
理容科	100,000円	645,000円	195,000円	施設充実費、実習研修費
美容科	100,000円	645,000円	195,000円	施設充実費、実習研修費
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援（任意記載事項） 遠方からの就学支援として、通学費用、または一人暮らしの補助を実施。				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://ib-beauty.jp/disclose/disclosure.pdf">https://ib-beauty.jp/disclose/disclosure.pdf</a>		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
2019 年内に学校関係者評価委員会を組織し、年度内に第 1 回の評価を行う。2020 年度以降は年 2 回実施する。 主な評価項目は「学校運営・教育活動・学修成果・学生支援・教育環境・学生の受け入れ募集・地域貢献等」とする。 評価委員会は、理容及び美容サロンのスタッフ・地域代表者・高校教諭等の 4 名 (定員) で構成する。 また、学校評価の結果を受け、学校の継続的な質の向上、学校マネジメントの改善を図る。具体的には、学校経営能力の向上、学校管理者の管理能力の向上、教職員研修の充実、教員のスキルアップ等に活用する。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
NEW TOKYO (理容) E x c e l l e n t H a i r	2019. 10. 1～ 2021. 9. 30	業界関係 (就職先)
P u l L a v i (美容)	2019. 10. 1～ 2021. 9. 30	業界関係 (就職先)
佐賀女子高等学校	2019. 10. 1～ 2021. 9. 30	高校教諭
佐賀市伊勢町自治会長	2019. 10. 1～ 2021. 9. 30	地域代表者
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://ib-beauty.jp/disclose/disclosure.pdf">https://ib-beauty.jp/disclose/disclosure.pdf</a>		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://ib-beauty.jp/disclose/disclosure.pdf">https://ib-beauty.jp/disclose/disclosure.pdf</a>
--